

**\* 三浦按針：** 本名ウィリアム・アダムス(1564～1620)、イギリス人慶長5(1600)年 航海長として太平洋を航行中暴風で大分臼杵に漂着。徳川家康に謁見して気に入られ、横須賀市逸見に250石の領地と三浦 按針の名を与えられ、外交顧問として仕えたほか、砲術、造船術、航海術などの西洋文明を伝えた。妻は、江戸日本橋大伝馬町の名主馬込勘解由の娘。按針の名は当時水先案内人を按針といったことから。

### 県立塚山公園 (かながわの景勝50選)

「按針塚」(按針の供養塔であるとの説が一般的 (墓は平戸) 1923(大正12)年国の史跡に指定)を中心に作られた公園、標高133mの小高い山上に広がる。約1000本の桜の名所としても有名で、毎年4/8三浦按針祭桜会が催される。

### 浦賀道の十三峠 (古道50選)

浦賀道は保土谷宿で東海道から分かれ、六浦から浦賀まで通じた。享保5(1720)年、奉行所が浦賀に移されてから江戸との往来が盛んになった。この辺は浦賀道の中でもせまく急坂の難所であったといわれた。地図上で「十三峠」と書かれているが山稜の鞍部ではない。地形の難しい海岸沿いを避け、山沿いに付けられた道の「難所」ということで「峠」と呼んだか。十三峠の名の由来は、保土ヶ谷より13番目の峠 説や、十三仏をまつた寺か神社がありそれにちなんだもの、あるいは十三塚の信仰にまつわる説などがある。

### 田浦梅の里 (田浦梅林) (花の名所100選)

**田浦梅の里**(旧田浦緑地)：昭和51年地元の石川宏氏がこの山一帯の33万7千㎡を横須賀市へ寄付したことに始まる。市では市制70周年記念事業として野外レクリエーションの場づくりをすすめ、昭和57年4月に「田浦緑地」(現在は田浦梅の里)として開園した。最高地点127m。

**田浦梅林**：昭和9年に皇太子殿下(現在の天皇陛下)ご誕生を記念して、地元の有志が700本植えたのが始まりで、現在では青軸、白加賀の白梅、養老の紅梅など約2700本の梅の花を楽しむことができる三浦半島随一の梅の名所。